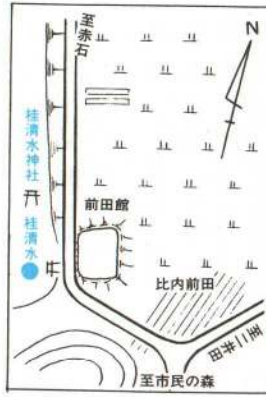


大館の歴史散歩

泉 ④

比内前田の桂清水

大館地方には、大館市花岡町七ツ館、大館市比内前田、比内町笹館の三カ所に、南部浄法寺と深い関係をもつと考えられる「桂清水」の名と伝承をもつ地がある。(詳しくは、日景健「桂清水のことと青麻にまつわること」、大館市を知る雑誌「火内」一〇号、大館市史編さん委員会編を参照)。



その一つが、大館盆地の麓西地区、比内前田集落の西側丘陵突端に鎮座する「桂清水神社」で、境内の巨木の根元から清水が湧いている。安政五年(一八五八)ごろの成立と考えられる「郷村史略」には、「社地 観音 桂清水の観音といふ 鎮守也 (中略) 社内に根桂にて中程より上へいたや廻り老丈五尺の木あり 夫へ壱尺余の莠うるしからミつき、清水あり」と記されている。

巨木の根元から湧き出ている泉は、一三〇年程前と変わらぬ情景であるが、近年は水量が少なくなつたと地元の人たちはいう。桂清水の前には「前田館」があつて、同じ「郷村史略」に「古城あり、浅利の士 前田清左衛門といふ者居せしとそ」とある。およそ四〇〇年程前、前田館に居住する在方武



士を中心に、比内前田一帯の開発が行われ、その際、居館の飲料水(水の手)となつたのも、この桂清水であつたと考えられる。(「大館市史」第一巻)。桂清水の傍にたたずみ、前面に広がる青圃を望むとき、この泉の一滴を汗の一滴にかえて、営々と開発に励んできた古人の姿が目にかんてくる。(市役所・史跡探訪会)

図書館 コーナー



～新着図書～

「アメリカン・ビート」

(ボブ・グリーン著 河出書房新社)

アメリカを代表する気鋭のコラムニスト、ボブ・グリーンのコラム集。人々の真摯に生きる表情や人間の優しい一面と残酷な一面、あるいは有名人の意外な一面を活写したこのコラム集には、著者の感性、人間観がよく現われ、人生の輝きと陰り、生きることのせつなさをとらえて、素肌のアメリカが描かれている。

＜一般書＞

- ◇世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド(村上春樹著)
- ◇デザインされた木(且原純夫著)
- ◇偶然の犯罪(ジョン・ハットン著)
- ◇おお、定年(加藤仁著)
- ◇食べて勝つ(R・ハース著)
- ◇来し方の記・辰雄の思い出(堀多恵子著)
- ◇パパぼく息とめたくないよ(Tプラングル著)
- ◇ぬいぐるみの鼠(中村昌義著)
- ◇動物は地震を予知する(H・トリブッチ著)
- ◇電話男(小林恭二著)
- ◇日本青年は健在だった(山本茂実著)
- ◇現代フリーライター論(茶本繁正著)
- ◇こう変わる・あなたの年金(佐藤進著)ほか

＜児童書＞

- ◇子ども天文教室 全6巻(前川光著)
- ◇新・文学の本だな 第1期全10巻(大阪国際児童文学館編)ほか

＜中央図書館の休館日＞ 7月21、25日
8月18、22日

＝ 広報係からお願い ＝

▷ 広報は8月3日に発行

次号の広報は、8月1日号を予定していましたが、第34回秋田県中学総合体育大会大館大会の特集号となりますので、8月3日に発行します。

▷ 広報「おおだて」への投稿について

広報係では、よりよい広報を作るためみなさんからのご意見、ご感想をお待ちしています。

- ・「市民の声」
市政や社会事象、身の回りの出来事などのご意見、ご感想を二百字以内で。
- ・「思い出のアルバム」
昔懐かしい行事や風景、珍しい風俗などの写真をお持ちの方はお知らせください。

◇宛先 大館市字中城20番地
市役所総務課秘書広報係

☎49-3111 内線259

われらサークル仲間

No.13

大館天文クラブ

夜空にまたたく星座の神秘さに魅せられて集ったグループが市内にあります。

このグループは八年前に望遠鏡の扱い方や天体知識の普及を目的に結成された大館天文クラブです。現在、高校生をはじめ二十九名の会員が数千万光年かなたの星雲などを観測しています。

同クラブでは、今年秋迎内地内に観測所を完成させ、天気の良い日には毎日でも星空の観測を続けています。この観測所には、主鏡部二十五センチと二十センチの三基のジャンボな天体望遠鏡が取り付けられており、県内でも屈指の観測所となっております。

今年から来年にかけてハレーすい星が異常接近するとあって、会員は



☎42-3923